

阿南市大井の集落から那賀川の水井橋を渡ると、しっとりした山道が続く。道沿いに川が流れ、木々の間から滝つぼがのぞく。しばらくすると朱色の顔料となった辰砂が採掘されていた『若杉山辰砂採掘遺跡』が現れる。『遍路ころがし』の難所を進むと二十一番札所『太龍寺』にたどり着く。樹齢数百年余の老杉の並木が天空にそびえ、荘厳な空気を漂わせている。広い敷地には、江戸時代に再興された仁王門、六角経蔵、大師堂などの諸堂が立ち並び、寺を後にすると、しばらく車道が続き、山深い阿瀬比の町に着く。一部、交通量の多い区間があるため注意。

距離 10.5 km	所要時間 5 時間
体力レベル 山道の登降に対応できる体力が必要。適切なペース配分で歩こう。	技術レベル 急な登降があり、坂道を上り下りできる技術が必要。
スタート地点までのアクセス 「県道282号」「県道19号」を経由して阿南市大井町の水井橋で集合。 エスケーブルート有 ⚠️ (MAP参照)	最寄り駅・バス停 ◎START地点 鉄道 — バス — ◎GOAL地点 鉄道 — バス 徳島バス『阿瀬比』からすぐ



水井橋から山道へ入ると現れる滝つぼ



標識に従って、階段を上る

舗装された道を下る

駐車場を通り車道を道なりに進む

県道28号に沿って進む



境内を出てキリンを抜ける、投並木の参道に出る。老木に囲まれた二十一番札所太龍寺は、深山幽谷の味わい。

大井～若杉山辰砂採掘遺跡～太龍寺～阿瀬比

四国のみち



首冠 四国の国

ウォーキングガイド

歩くときの準備について

- ・体力に合うコースを選び、行き帰りの交通手段も調べて余裕のある日程を組もう。
- ・体力や山登りの技術に自信がない方は、一部分のみを選んで歩く方法もある。
- ・天気予報に注意し、悪天候が予想される場合は無理をせず予定を変更しよう。
- ・気温に合った防寒着や、急な天候の変化に備える雨具を忘れずに。

野山を歩くときのマナー

- ・空きカンやゴミは投げ捨てたりせず、ゴミ袋に入れて持ち帰ろう。
- ・山火事の原因となるタバコの投げ捨てや焚き火は絶対にやめよう。
- ・果樹園や農園の農作物、野生動植物を傷つけたり取ったりするのはやめよう。

危険な動植物にご注意を

- ・山道には人間に危害を及ぼす生き物がいる。ハチやマムシ、マダニに注意を。

問い合わせ先

徳島県 グリーン社会推進課 088-621-2263
 阿南市 商工政策課 0884-22-3290



コース内には案内板、道順を示す標識、文化財などの解説板、各所に休憩所を設置している。設備の破損や道の異常箇所に気付いた場合は上記の四国のみち担当課にご連絡を。

コース周辺の見どころ

MAP A 水井橋



「すいしばし」と読む。お遍路さんが二十番札所『鶴林寺』から二十一番札所『太龍寺』へ向かう遍路道の途中に位置する。天気の良い日は、山の緑を映した深緑の那賀川の美しさに思わず足を止める。

MAP B 若杉山辰砂採掘遺跡



戦後、みかん畑への開墾の際に多量の石臼、石杵、土器などが出土し水銀朱採掘遺跡として知られるようになった。その後の調査で全国初の古墳時代の辰砂採掘遺跡として注目されている。

踏破認定写真 撮影ポイント

若杉山辰砂採掘遺跡と太龍寺の間にある標識 No.1035



踏破制度



MAP C 太龍寺



四国八十八ヶ所霊場二十一番札所。延暦11年(792)弘法大師の創建と伝えられている。古くから、1に焼山(焼山寺)、2にお鶴(鶴林寺)、3に太龍(太龍寺)と遍路を嘆かせた難所である。

MAP D お松大権現

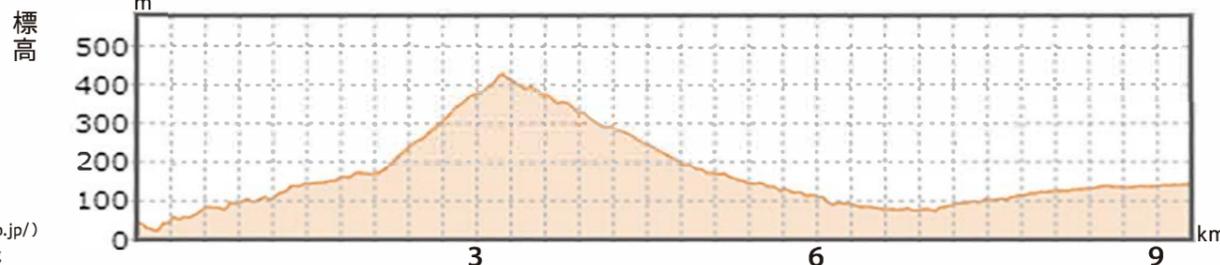


「お松さん」と呼ばれて親しまれる『お松大権現』は有馬、鍋島の猫騒動とともに、日本三大怪猫伝として名高い。勝負や願い事の神様として知られ、特に受験シーズンは合格祈願の参拝客でにぎわう。

里程表



高低差表



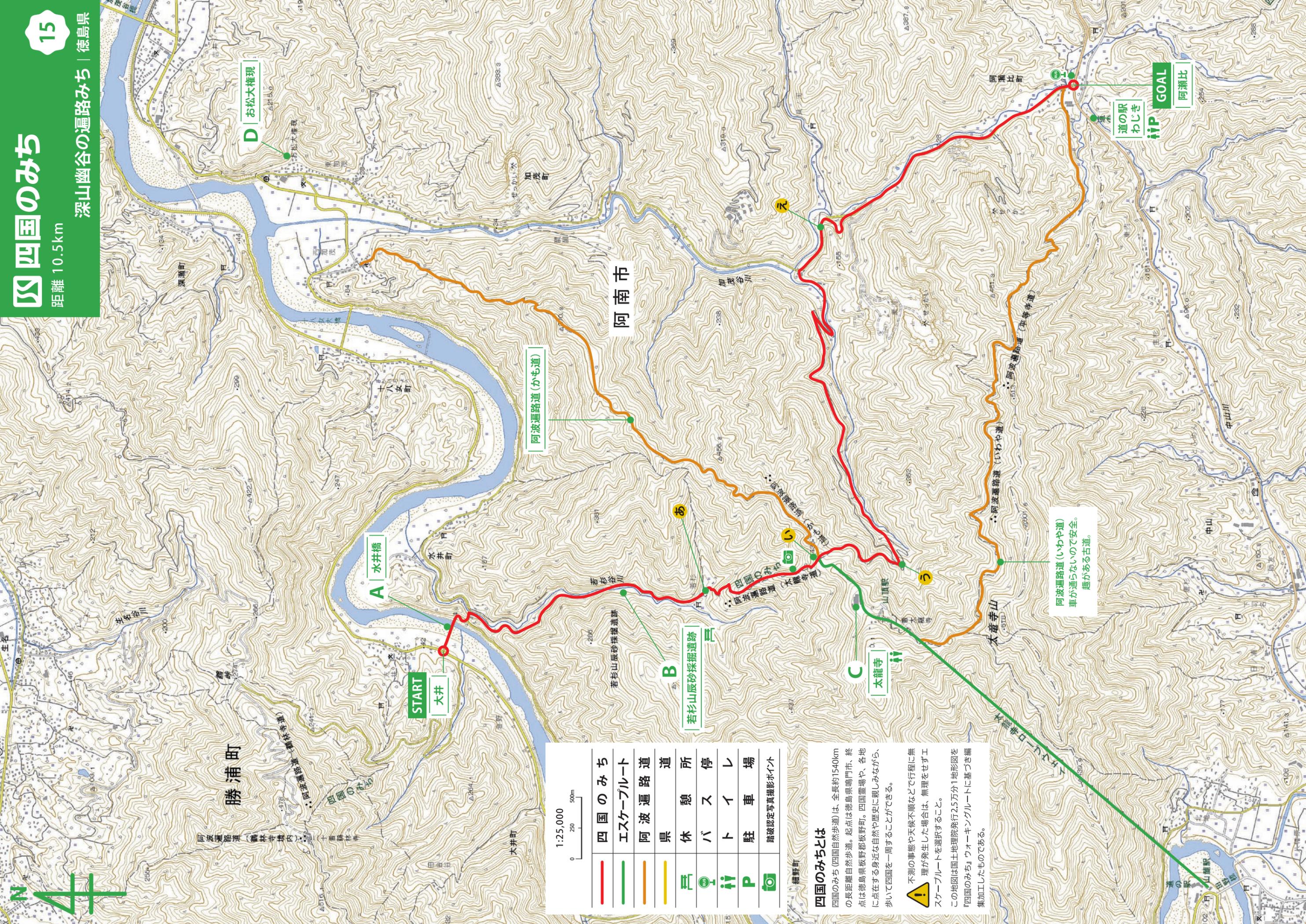
国土地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp/) データを加工して作成

四国のみち

距離 10.5km

深山幽谷の遍路みち | 徳島県

15



D お松大権現

A 水井橋

START 大井

阿波遍路道 (かも道)

阿南市

B 若杉山辰砂採掘遺跡

C 太龍寺

道の駅 わじき

GOAL 阿波比

阿波遍路道 (いわや道) 車が通らないので安全。趣がある古道。

1:25,000

0 250 500m

	四国のみち
	エスケープルート
	阿波遍路道
	道
	休憩所
	バス停
	トイレ
	駐車場
	踏破認定写真撮影ポイント

四国のみちとは

四国のみち (四国自然歩道) は、全長約1540kmの長距離自然歩道。起点は徳島県鳴門市、終点は徳島県板野郡板野町。四国霊場や、各地に点在する身近な自然や歴史に親しみながら、歩いて四国を一周することができる。

不測の事態や天候不順などで行程に無理が発生した場合は、無理をせずエスケープルートを選択すること。

この地図は国土地理院発行2.5万分1地形図を『四国のみち』ウォーキングルートに基づき編集加工したものである。